



# Birth

総集編

Fate/Zero Fan Book  
Gilgamesh × Tokiomi R18 ◆ Crazy9

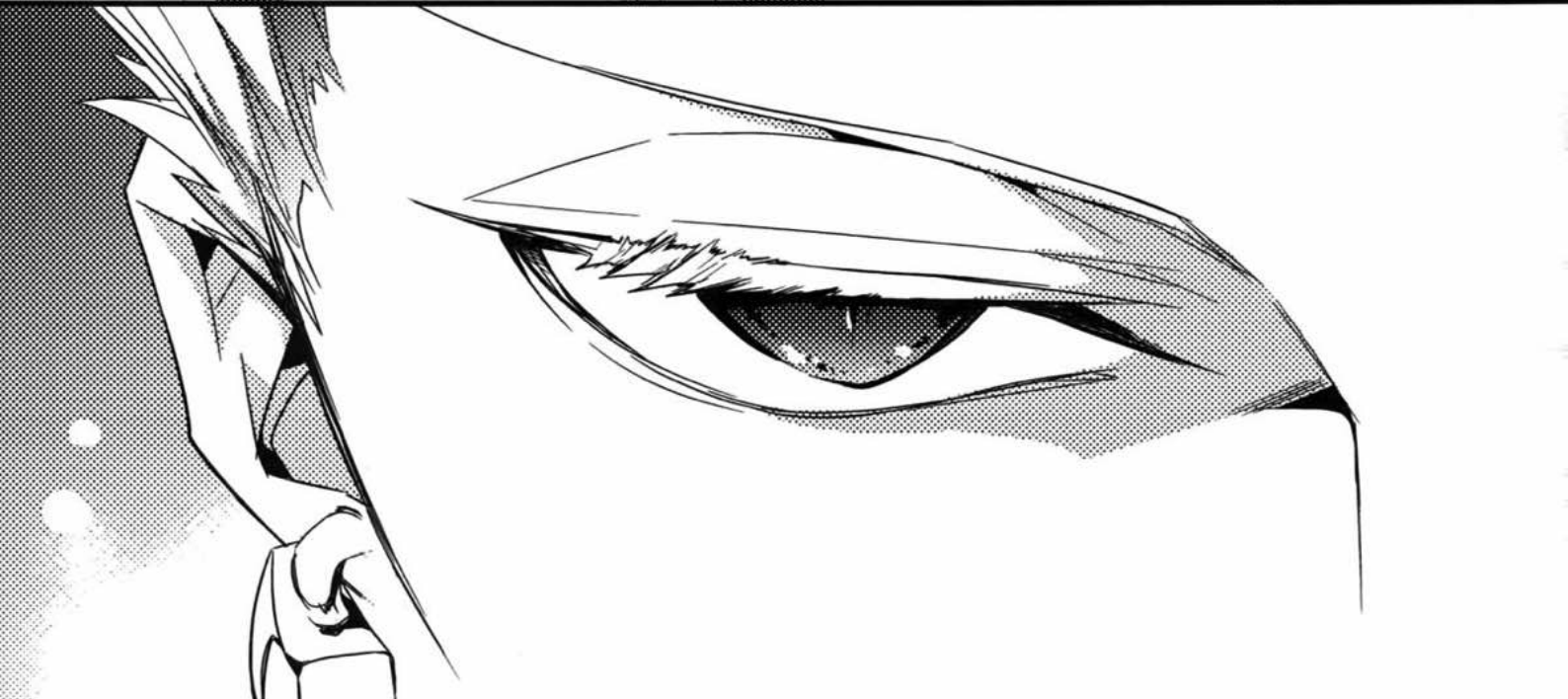




この戦い



我々の勝利だ!!



目を開いて  
最初に見たその色を

今も鮮烈に覚えている







たすけ

やだ

王…っ

んあっ

い…やだ

あ

あ  
あ

ギョッ

ギョッ

ギョッ  
ギョッ



たすけて  
ください

王

ギョッ  
ギョッ

どっ



その男は  
来ない

あ  
あう

あ

あ

諦めろ



おっ...

いやだ

うああ

いや...っ

あ...あ

おっ  
王っ

おっおっ

ああ  
あ...っ

た...すけ

王...



時臣は、我を認識出来ないらしい

ギルガメッシュ…



一命をとりとめた  
事自体が  
奇跡だからな

その上令呪に  
魔術刻印も  
失ったのだ

後遺症の  
ひとつも  
残るだろうさ

は、我が尊顔を  
前にして  
分からぬとは

不敬を  
通り越して  
腹も立たぬわ

貴様もさぞ  
寂しかろう

三年間師事した  
男から他人と  
扱われてはなあ  
綺礼

戦中ノモリ

それでも  
ないさ

それよりも  
お前の後始末を  
させられる方が  
よほど堪えるよ





あまり虐めないで  
やっで欲しいものだ



あ...や  
いや

だ



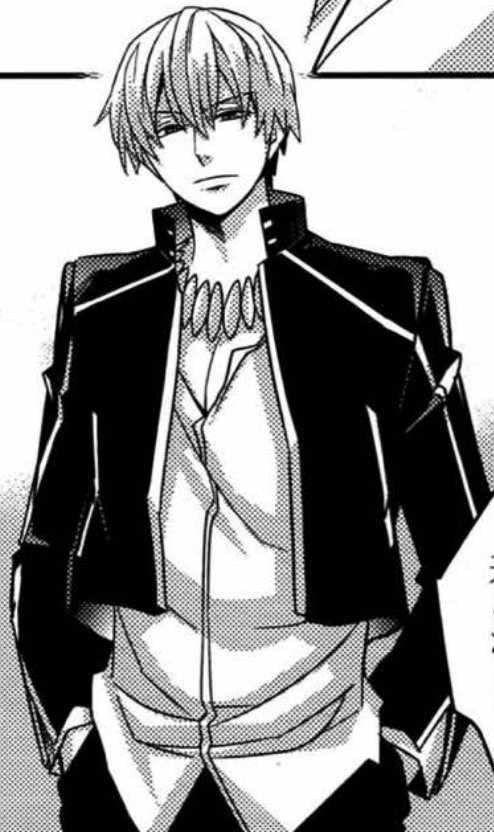
五月蠅い

うああっ  
あ

はなっ  
離して

器用な  
事をする

我が誰かは  
分からぬくせに  
分に犯された  
事は分かるのか



く...  
来るな

来るなあっ



おう……

おん  
おん

おん  
おん

王……

おん

王……  
たすけ

助けて  
ください……

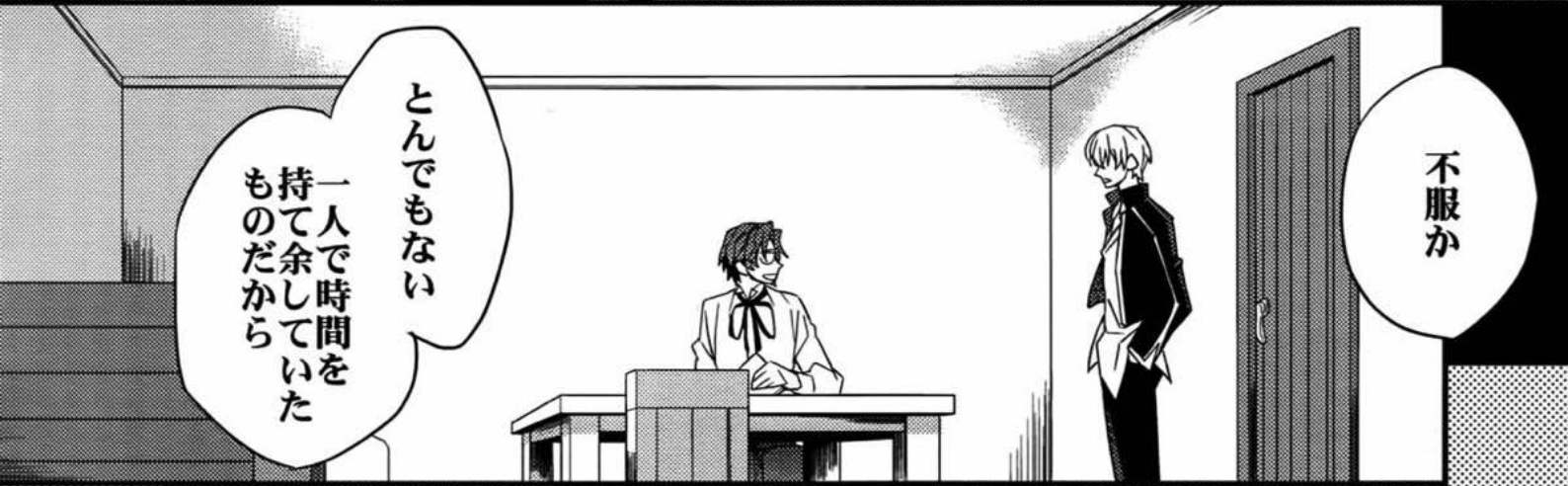


あ……

最初はこう  
ではなかった







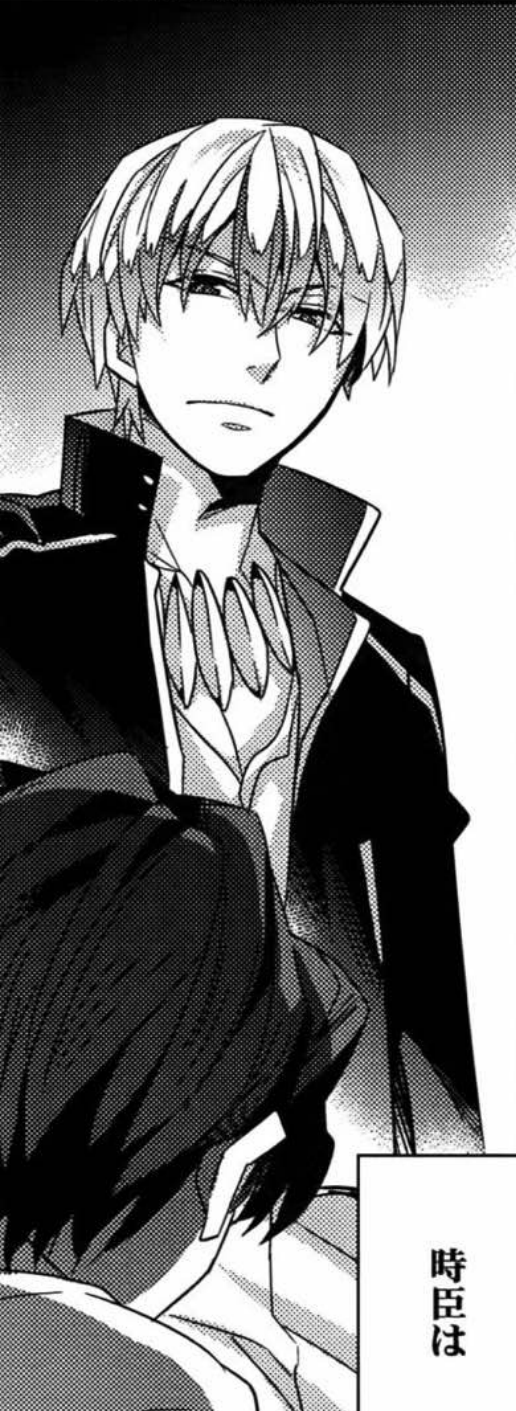


なにを  
読んでいる

あつ

くだらん

わっ



きつ  
君には  
くだらないが  
しれないかも

私には



大切な本  
なんだ…

時臣は



いつも右手を  
隠している



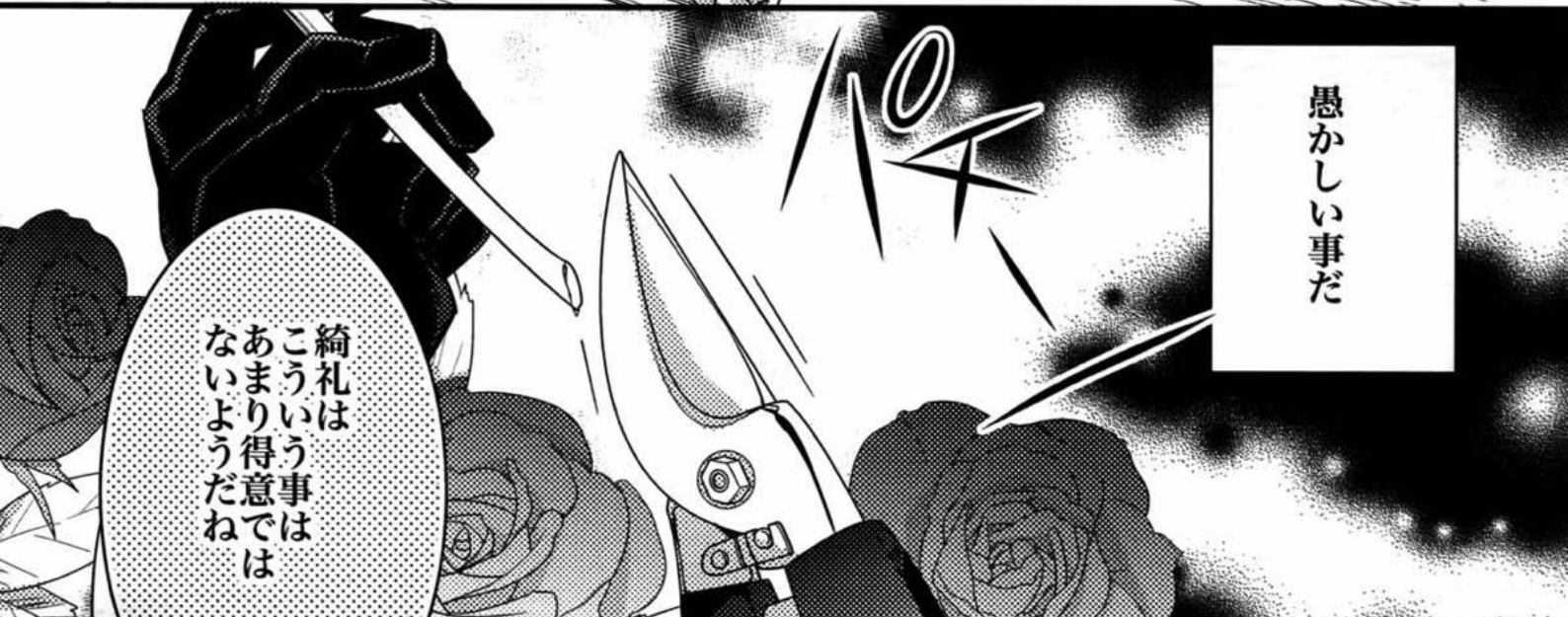
令呪が無い事を  
他者に悟られまいと  
しているのか

この男はいまだに  
聖杯戦争のただ中に  
いるつもりらしい



愚かしい事だ

綺礼は  
こういう事は  
あまり得意では  
ないようだね





教会には  
大勢の人が  
訪れる

庭は美しく  
保たなくては

パ  
パ

パ  
パ

パ  
パ



…お前



パ  
パ

パ  
パ

そういえば  
戦争中だっ  
た  
この男の庭  
は  
整えられて  
いた



外に出たい  
とは思わな  
いのか

パ  
パ

パ  
パ



私は…

わたしは  
しに…んだから

ここから出ては  
いけなくて

ずっとここに  
居るようにと

わたしは…

後遺症か  
暗示か

どうでも  
いい

穴熊の  
言い訳か

単に出不精な  
だけだろう

ちよっ

やっ

やめっ

ころ

**アハハ**

もう…っ

…禁じられてるから

ああでも  
確かに

出たくない  
のかもれない



ここなら彼が  
来て下さるかも



…彼とは

ああ



邸にはなかなか  
戻って下さら  
なかつたけれど  
この教会  
なら…

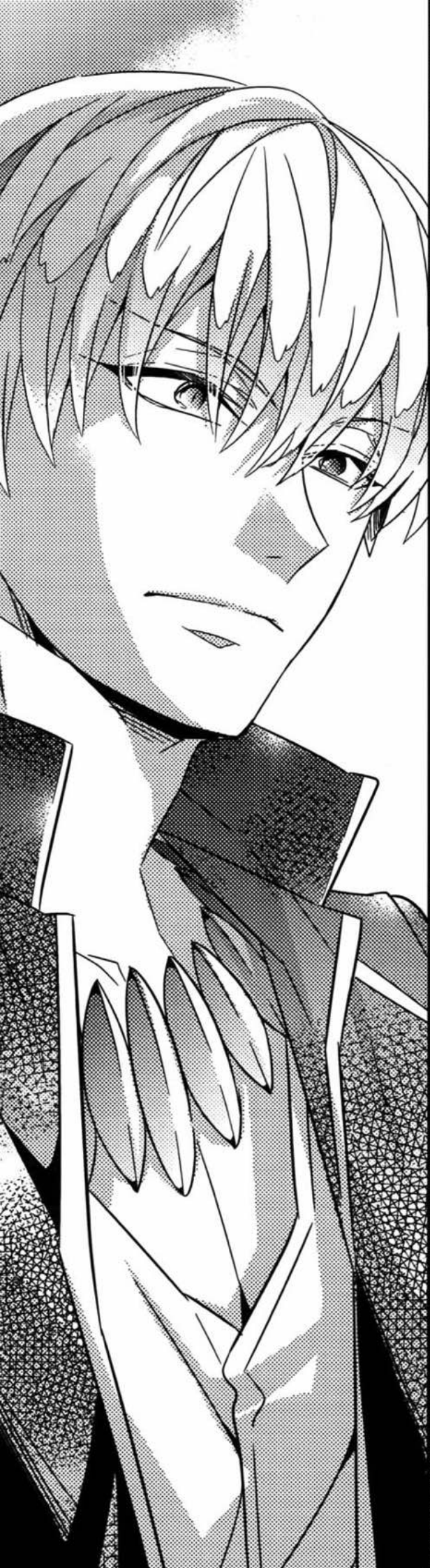


つまらぬ事を  
聞いた

私の…







わたしの



王…

戯れに何度か  
抱いた事がある

この男の生前



魔術師でも

父親でも  
なくなつた  
こいつは

それを  
後生大事に  
抱えているの  
だろうか

滑稽な話だ

だが  
なぜだろう





笑う気には  
なれなかった









淫蕩な  
身体だった

最初から



我が望めば顔色一つ変えず  
容易くその身を差し出したのだ

ひんう

ヒッ

んくう

こんな風に…

うう

こんな風に  
無理矢理犯すように  
抱いた事は無い





あ...あ  
王っ

キキキ

キキキ  
キキキ  
キキキ

キキキ  
キキキ  
キキキ

キキキ  
キキキ  
キキキ

きもち  
です

キキキ

それっ  
きもち

お...  
王っ

お...

キキキ  
キキキ

キキキ  
キキキ

キキキ  
キキキ  
キキキ

キキキ  
キキキ

キキキ



王っ  
王…っ

いやだっ  
ああ

おい  
時臣…

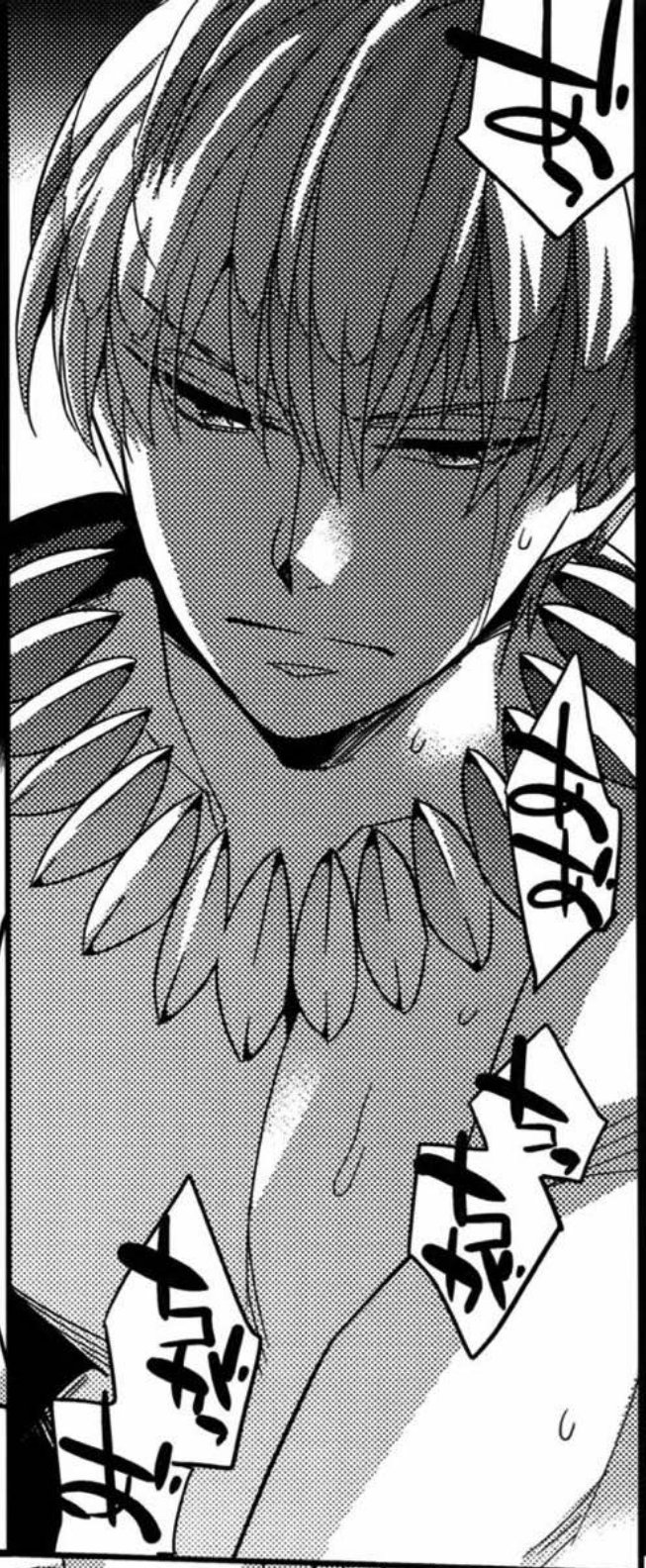
王  
王…っ



…の

王…っ

ニヤッ  
ニヤッ



アッ

アッ

アッ

アッ



巫山戯るな  
何が違うか

アッ

アッ

アッ

アッ

アッ





私の顔を  
忘れたとは  
言わせぬ

あっ  
ああっ

グッ  
グッ



三すぞ



も...やだ  
いやだあ

やめて...  
やめて...

あっ  
あっ





い...やだあ  
それだけは...っ

やめっ  
も

やあ  
やあ

はなひ...っ



やあ...  
ぎるっ

ぎるがめっしゅ

たすけ







子が出来る  
わけでも  
あるまいに



…なさ

ごめ…なさ  
王

ごめ

ごめ

ごめん

ごめんなさい



め…なさ…

何度  
注いでも  
同調しても



この男が正気に  
戻る気配はない



貴様の口から  
幸福だと

もう経路は  
繋がって  
いないのだ

お前を  
分かんのも  
無理はないだろう

正気でない方が  
幸福な事も  
あるだろう

経路など  
元々ほぼ  
切ってたわ



…不思議な  
ものだな

まったくだ

※



不思議なのは  
お前だ  
ギルガメッシュ



師を殺すよう  
お前けたのは  
うのだに



死に損ねた男を  
戯れに困っている











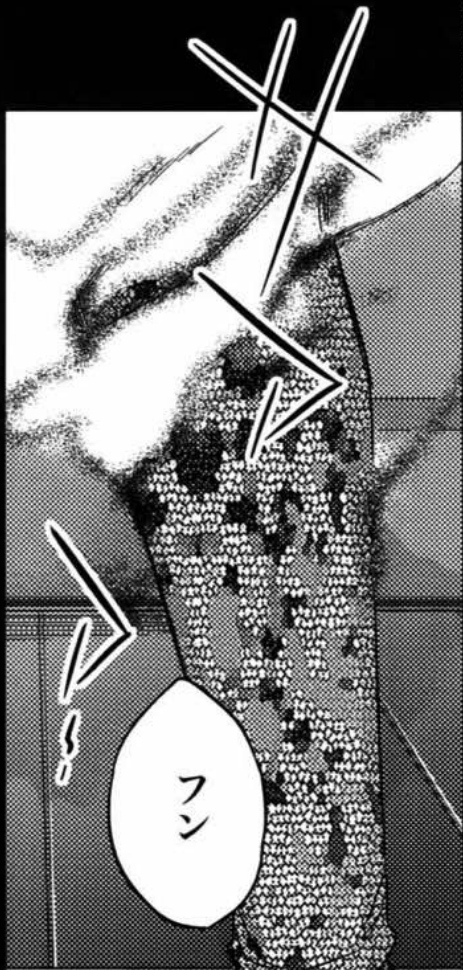
戯れに、開っている





この身は抑止力として創られた







もう一悶着ぐらい  
あるかと期待  
していたのだがな

見よ

この間抜けた  
死に顔を

すぐ傍に  
霊体化した  
サーヴァントを  
侍らせて  
いたのだ

油断するものも  
無理は  
あるまい

早くも諧謔を  
身につけたか  
綺礼

しかし…  
クク

まこと  
無様よな

これが我を  
謀ろうとした男の  
末路と思えば  
愉快この上ない

く…は

はは

ハハハハハ!



は

は



.....あ？





あ  
ああ

あ



あ...  
う

う  
う  
う



は...  
く

う

う  
う

う...



な...あ?

なん...

なんだ?



う…あ

ああ

あ…っ




どうした

ギルガメッシュ

何をそんなに  
嘆いている





私たち人間

そして星  
そのものの  
統一された意識

自分達の世を  
存続させたいという  
願望が収束して出現する  
様々な形として

それが抑止力と  
呼ばれる  
カウンターだ

根源への到達を願う事  
自体は必ずしも抑止力発現の  
絶対条件ではないが

あの聖杯に根源を願えば  
人類全ての命が引き換えと  
なった事だろう

本来なら知覚出来る  
事などありえんものだが…  
それだけお前が規格外の

そんな事は  
どうでも良い

無自覚のうちに  
時臣師を害するよう  
動かされた  
可能性はある

現代では  
人類の破滅は  
言っても良い  
星の破滅と同義と

お前は  
星寄りだが







これはなぜ止まらぬ



宝具で目眩し  
出来たから  
良かったもの…

受肉  
して  
おさま

危うく  
セイバーの前で  
醜態を晒す  
ところだったわ



私と再契約  
しても変化なし  
ときは



さてな

供給源を失った  
喪失感か…



案外…  
本当に悲しいか？



…綺礼



貴様

泥の心臓は  
よほど  
惜しくない  
と見える



ならば殺して  
しまつても  
構わんのだな？





いたっ

起きろ

ズ  
ズ

時臣師は  
生きている

我が来てやった  
というのには  
寝惚けるとは  
何事だ!

茶の  
生たが

俺がつて...  
君は  
何様かね



不思議な  
事に

一瞬にして  
涙は止まった

己の行いを  
悔いた事など  
一度もない

だが私の意を外れ  
失ったものならば…

そう

今一度  
裁定が必要だ



我や綺礼を  
認識出来るほど  
惚けているとは  
思わなんだが

す…  
すまない  
機械の類いは  
苦手です…

あれ？

あれ？



まが…



ロツクが  
かかっているぞ





.....違うな

正しい手順で淹れればティーバッグでもそれなりの味にはなるんだが...

いざ王がお出した時にわけには...

う

困ったな

ティーセットがないのは仕方がないとしても

これでは

やはりダメか...

ああ

そうか

殊勝な事だ



それでもお前は  
すべて抱え込んだまま

ただの一人で

我を殺して

ホ

これは…

紅茶

味は知らんが  
テイーバック  
よりは  
マシだろう

根源へ行くつもりだったのだろうか？

その男が  
来た時にでも  
淹れてやれ






あ…



ありがとう…



あの時



お前は確かに  
笑っていたのに



…おい





だ壊  
つれ  
たて  
ないた  
たの



訪れる頻度が上がって以降  
時臣は常に手袋をはめるようになった  
令呪がない事を隠したところでマスター権は失っているというのに  
聖杯戦争はとうに終わっているというのに  
だからそれを剥ぎ取り犯してやった

もはやそこには何も無いのだと  
何をされようと  
サーヴァントを喚び助けを求める事は出来ないのだと

思い知らせる度にこの上なく清々しく  
堪え難いほど吐き気がした







…あ



ごあり



ううう…う

あ…

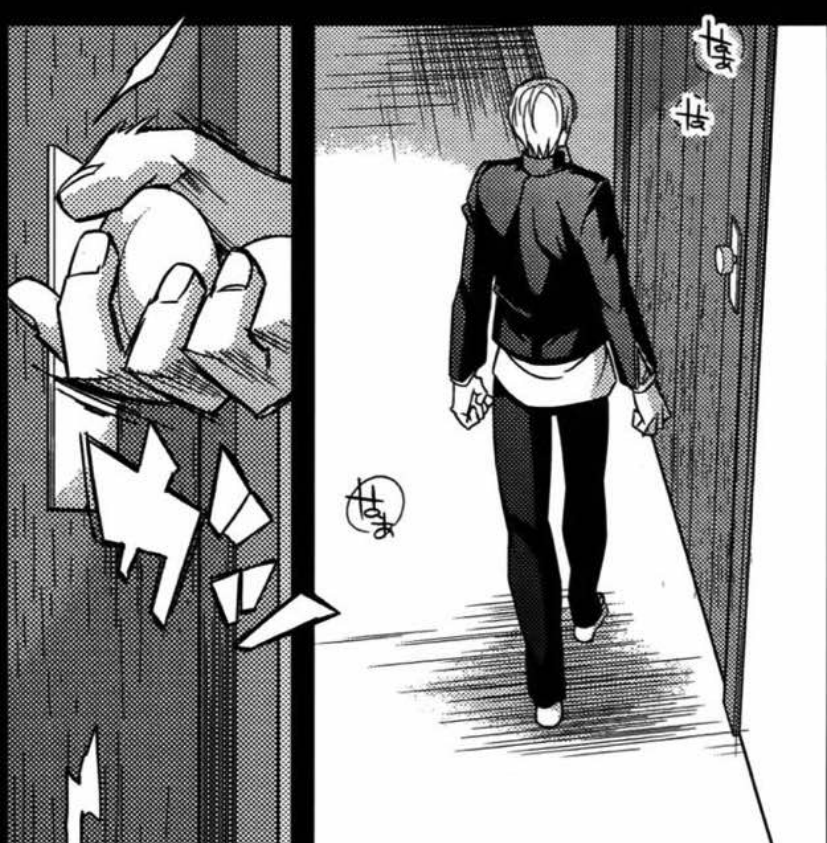
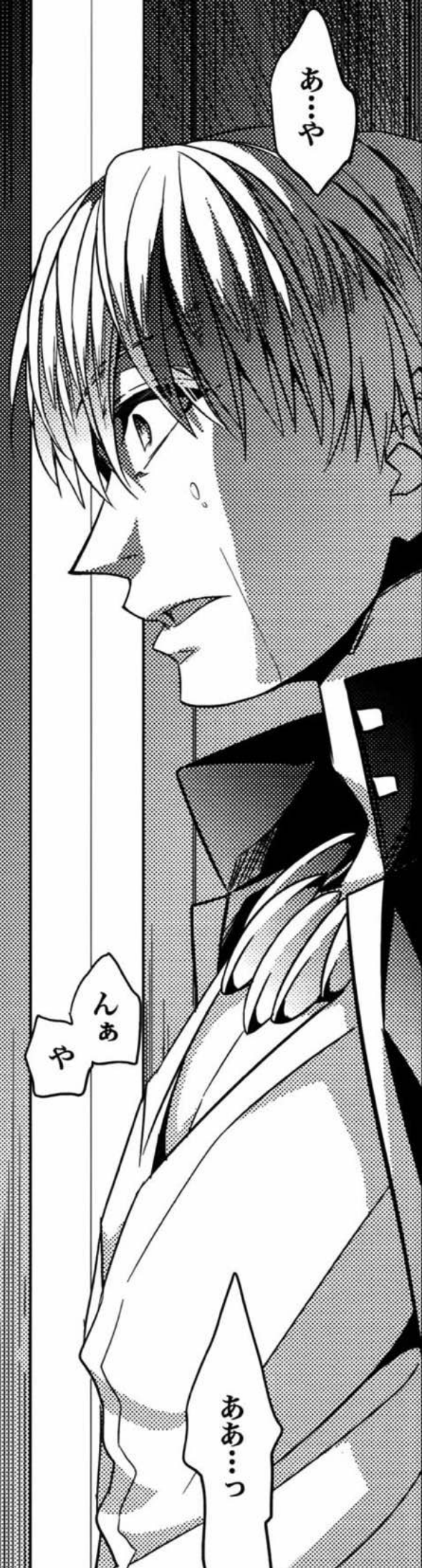
は…づ

くぞ!

おん

は











あつ



あつ  
あつ



綺礼……



いやだ……  
行かないで  
くれ

お  
おねが

お願い  
だからっ

私の傍に……

き



鍵を  
つけてましよう

そうすれば  
その男も  
入って来られない

鍵を…



…そう  
か



そうだね

鍵を  
かけても  
英霊ならば…

鍵を

かけても





王なら…



そんな事を言った  
覚えはないが



いつだ



時臣師が

奴はいつ…  
貴様を  
認識した



私を私と  
認識出来ない…  
などと







あっ



時臣っ

やああっ

我を見る

いやだ

や...

時臣



!!

!!

















な

皆様には  
あと二画

絶対的な  
命令権が残されて  
いたはずだ

喚べ

喚んでみろ

次は最後まで  
放さぬ



この男には在るのだ







ここに  
在るのだ



今すぐ

私の下へ——  
!!





な…

大人しく  
従うような殊勝な  
男だったか？



なん…で

貴様の王は



そうでは  
あるまい

嵐のような

暴君で  
あったはずだ

それを拒むと  
言うのなら

我を望まぬと  
言うのならば

時臣





我が臣下に  
能わぬ!



貴様はもはや





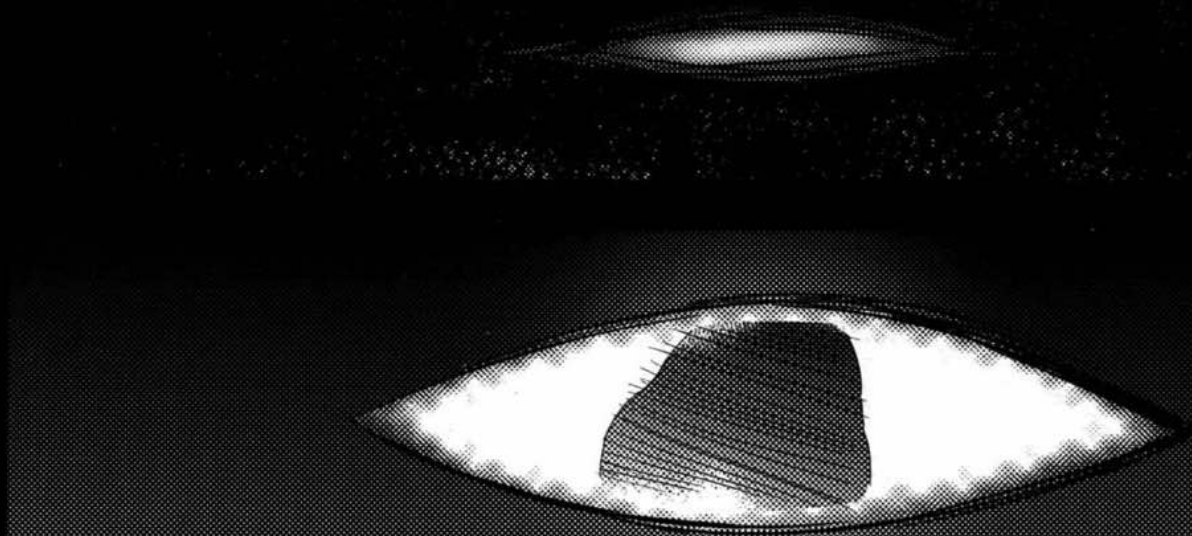
ああ…

そんなあなた  
だからこそ

わたしは

---







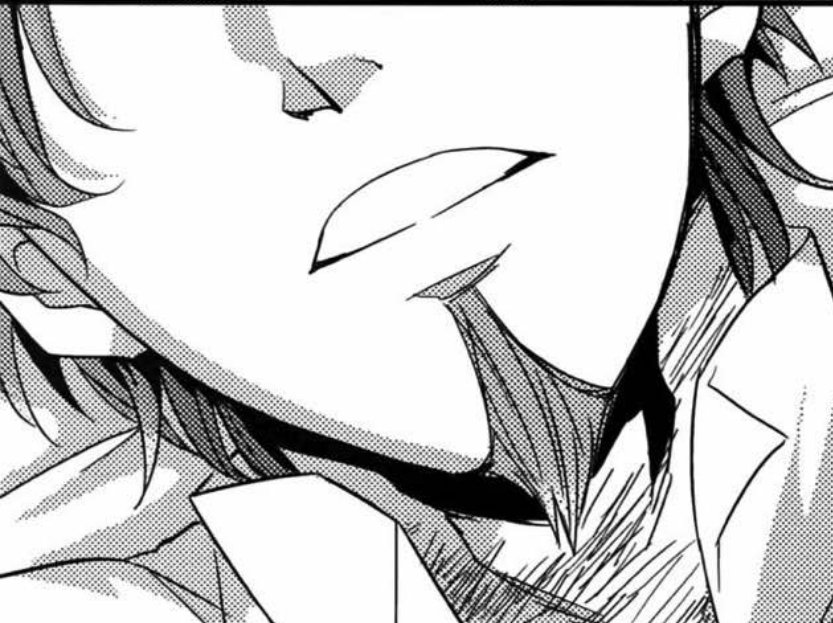
今宵はもう  
何もせぬ

…案ずるな

痛みは…



あ…



良く…  
休め





どうか…  
なさい  
ましたか？

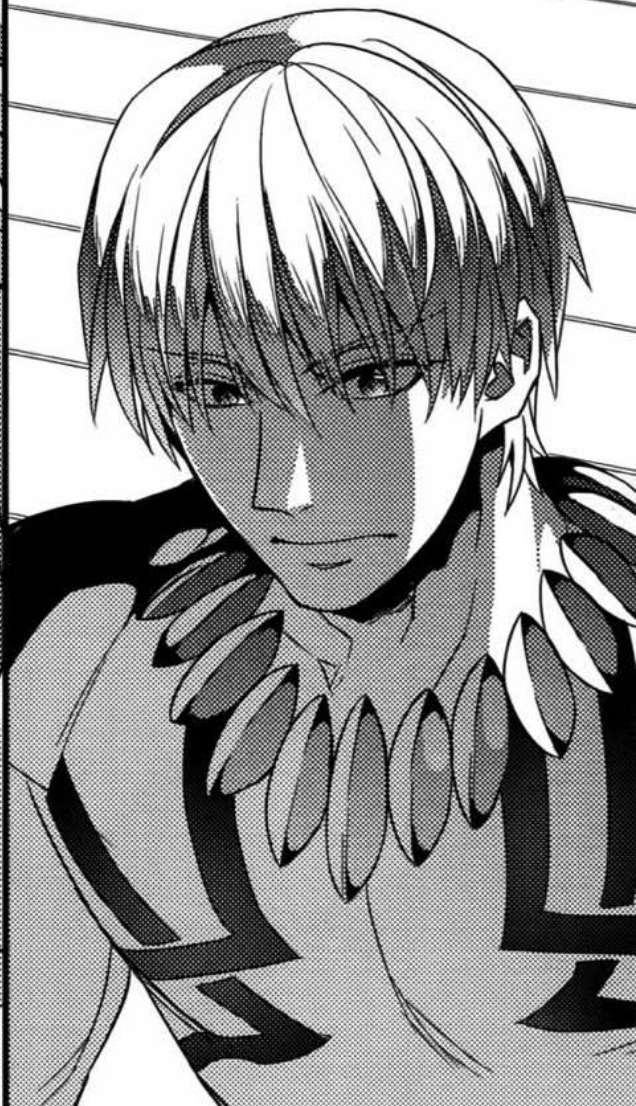


王…



漸く

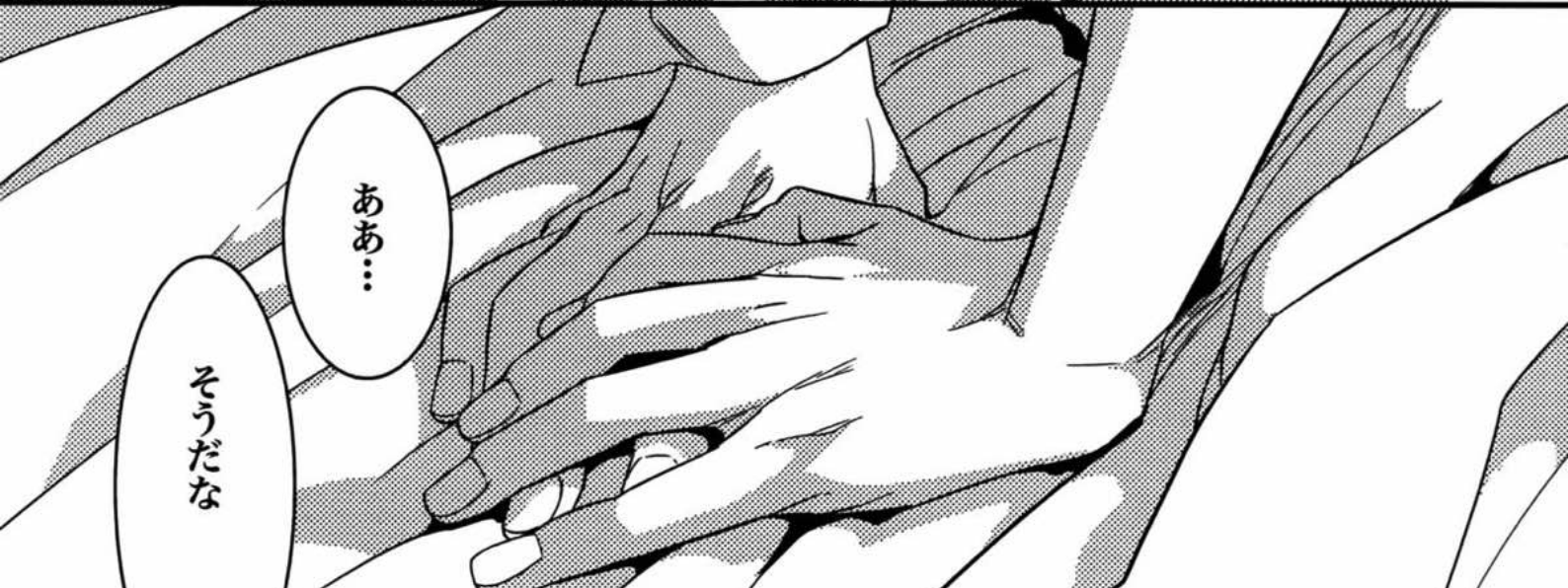
目覚めたか





なんだか!!

随分と長い夢を...  
見ていたような  
気がします



ああ...

そうだな





待ちわびた——



ん…

どうした

途中で  
眠ったのだ  
貴様は

そっ

その…  
違和感が

ああ…

ピクッ

もじ



それは…

申し訳  
ありません

良い



今から  
食わせろ

あっ











お慕いして  
おりました

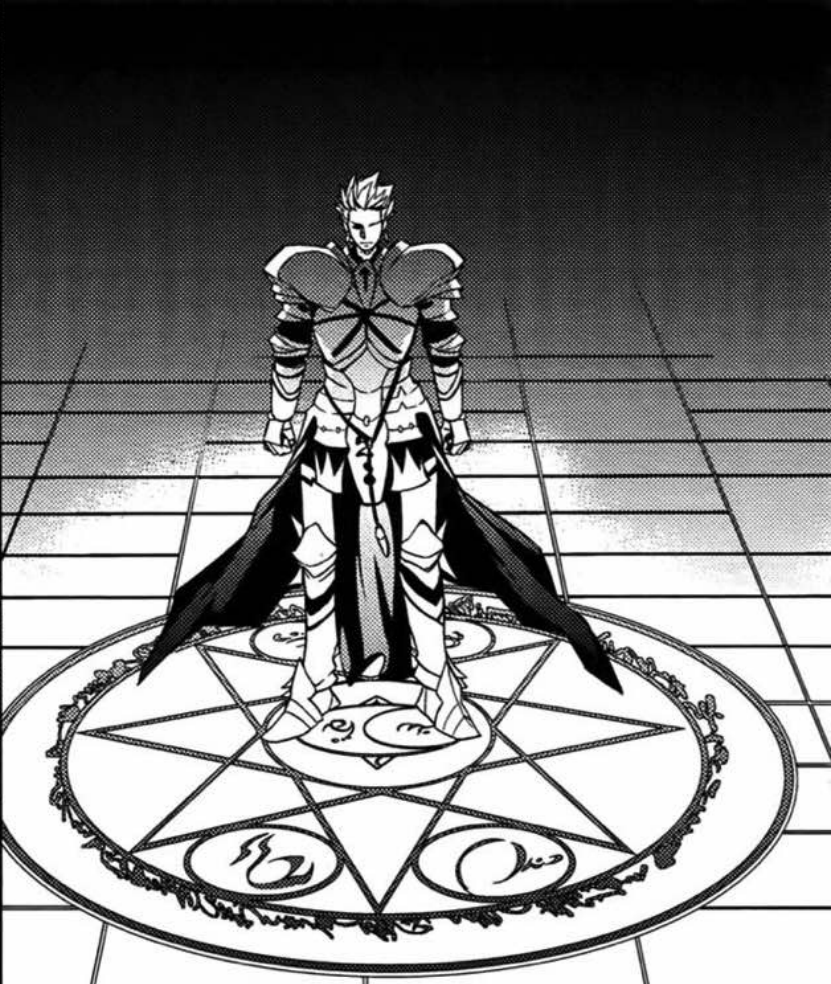
すっぴん

愛してました...

ああ...



答えなど、最初から出ていた



我も







お前を愛している

恋をしたのだ

ただの一目で

まばゆいばかりに美しいわけでも

特筆すべき面白もない

退屈でつまらぬ男に



ただ

恋をしたのだ



此处を出る

二度とは戻らぬ  
つもりだが…  
構わぬであろう



そうだな…



しかし死体を  
持ち出しさる  
のは困るの  
のだが

死体だと？  
馬鹿なことを  
それは貴様で  
あろう



言峰





こやつは  
死んだ  
のではない

漸くだ

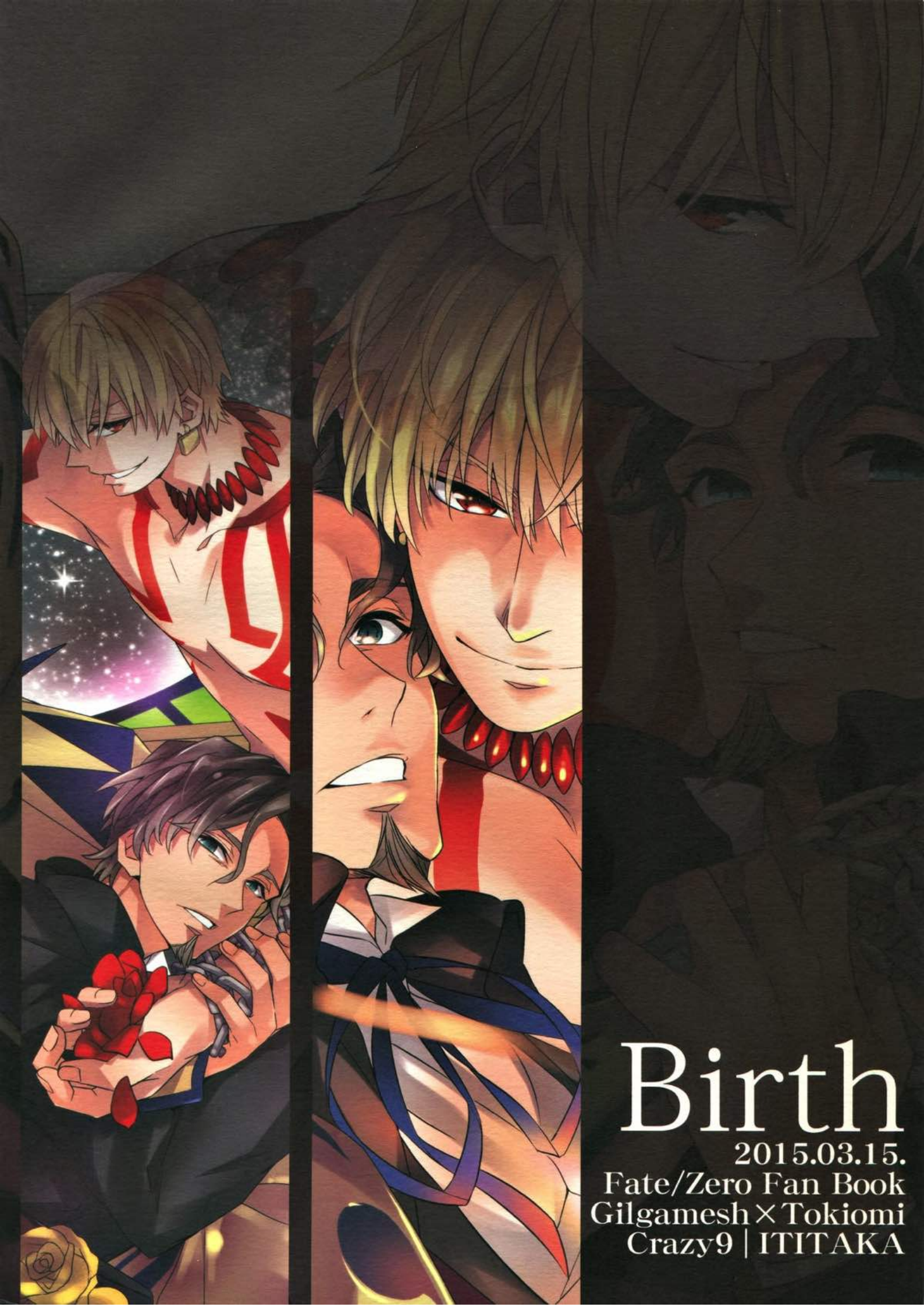
漸く……



産まれたのだ

Birth





# Birth

2015.03.15.

Fate/Zero Fan Book  
Gilgamesh × Tokiomi  
Crazy9 | ITITAKA